

平成 19 年 5 月 18 日

各 位

上場会社名 株式会社 安 楽 亭
代表者名 代表取締役社長 柳 時 機
(コード番号 7562 東証第二部)
問合せ先 取締役総務人事部長 安部 一夫
(TEL 048-859-0555)

業績予想の修正及び特別損益の計上についてのお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 24 日の中間決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期(連結、個別)の業績予想の修正及び特別損益の計上についてお知らせいたします。

記

1. 通期個別業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表数値 (A) (平成 18 年 11 月 24 日発表)	24,100	300	150
今回修正予想 (B)	23,233	41	378
増減額 (B) - (A)	867	259	228
増減率 (%)	3.6	86.3	152.0
前期(平成 18 年 3 月期)実績	25,070	168	1,829

2. 通期連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表数値 (A) (平成 18 年 11 月 24 日発表)	27,300	300	180
今回修正予想 (B)	26,306	25	428
増減額 (B) - (A)	994	275	248
増減率 (%)	3.6	91.7	137.8
前期(平成 18 年 3 月期)実績	28,231	267	1,858

3. 修正の理由

(1) 個別業績予想

外食産業全体としては需要回復の兆しが見えるものの、焼肉業界はまだ、米国 B S E のダメージから立ち直ったとは言い難く、牛肉の消費量が日本の B S E の時より落ち込み、また、飲酒運転取り締り強化もあって、当会計年度の売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

また、利益面につきましては、米国産牛肉の輸入再開により、食肉市場全体の需給バランスの変化による価格の低減が期待されましたが、春までは日本に輸出可能な月齢 20 ヶ月以

下の肉牛が少なく輸入量が僅少であったことと、オーストラリア産牛肉が記録的な干ばつにより昨秋から高値を維持したことにより、原価率が計画より下がりませんでした。また、売上総利益の減少を補うため販売費及び一般管理費などの費用の削減に努めましたが、求人難による募集コスト増や、シンジケート・ローンの繰上返済に伴うアレンジメント・フィーの一括償却額 1 億 20 百万円(支払利息)等の発生もあり経常利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

当社は、長期的な収益基盤の強化の為、借入金債務の圧縮を行っており、これに伴い固定資産売却益 34 億 70 百万円、固定資産売却損 20 億 84 百万円などの特別損益を計上したことにより、当期純利益は、当初予想を上回る見込みとなりました。

なお、次年度以降の利益につきましては、現在行なっている「総資産・借入金債務圧縮」施策により、支払利息等が大幅に減少します。

また、原材料につきましては、オーストラリア産牛肉も干ばつの影響が薄れて来ており、米国内産牛肉の輸入も拡大する見通しもあり、4 月からのメニュー改訂ではポーションを B S E 発生前と同じ 1 人前 100g に増量しております。また、当社が現在取り組んでいる効率化などの収益拡大効果が段階的に発揮されることなどから、確実に回復していくものと考えております。

(2)連結業績予想

連結業績予想の修正は、主に個別業績予想の修正によるものです。

4. 特別損益の計上について

下記のとおり、特別利益が発生します。

(1)個別特別利益

1.固定資産売却益	34 億 70 百万円
2.役員退職慰労引当金戻入益	30 百万円
3.保険金収入	40 百万円
4.その他	11 百万円
(特別利益計)	35 億 52 百万円

(2)連結特別利益

1.固定資産売却益	35 億 21 百万円
2.役員退職慰労引当金戻入益	30 百万円
3.保険金収入	40 百万円
4.その他	19 百万円
(特別利益計)	36 億 12 百万円

下記のとおり、特別損失が発生します。

(1)個別特別損失

1.固定資産売却損	20 億 84 百万円
2.固定資産除却損	89 百万円
3.減損損失	7 億 56 百万円
4.関係会社株式評価損	36 百万円
5.その他	19 百万円
(特別損失計)	29 億 85 百万円

(2)連結特別損失

1.固定資産売却損	20 億 84 百万円
2.固定資産除却損	89 百万円
3.減損損失	7 億 56 百万円
4.その他	16 百万円
(特別損失計)	29 億 45 百万円

5. 配当の状況等

期末の利益配当につきましては、当初の予定通り1株につき5円は変更せず、復配とさせていただきます。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上